

アベッスってどんなところ？

広い芝と河川敷が広がる開放的な空間。堤防から河川まで約50mのゆとりがあり、自然を感じながら安心して過ごせます。

芝の広場



！ 広場に降りる際は十分にご注意ください



道幅が狭く、見通しの悪い場所がございます。速度を落とし、歩行者や対向車に十分注意してご通行ください。また、河川公園の道路および駐車場については一方通行となりますのでお気を付けください。

仮設トイレ



仮設トイレ2基を設置しています。

駐車場



50台程度の駐車スペースを設置しています。なお、駐車場内も一方通行です。

芝無しのエリア



芝が無いエリアでは直火ができます。芋煮会やバーベキューなどで是非お使い下さい。

アベッス使用上の注意

みんなが気持ちよく利用できるように、ご協力をお願いいたします。



ゴミは必ず持ち帰りましょう



芝の広場での直火は絶対にやめましょう！

ペットのフンは必ず持ち帰りを願っています



エリア内は一方通行です。他の利用者の迷惑にならないようにしましょう。

人と川をつなぐ、新たな交流拠点が誕生！

最上小国川河川公園

「アベッス」オープン

2026年
5月27日
オープン！



公募で決まった名称「アベッス」

全国から362件の応募が寄せられた中から、

町内在住（月楯地区）

大沼 幸子さんが考えた「アベッス」に決定しました！

「子どもから高齢者まで、気軽に「あべ！（行こう！）」と言われてもらえるような公園であってほしい。そして、この公園を通して人と人とのつながりを育む温かい公園であってほしい」そんな思いが込められています。

応募総数
362件
(全国から)



最上小国川河川公園 オープニングセレモニー

人と川、人と人、そして未来へ。



5月27日に開催されたオープニングセレモニーでは、公園愛称の公募で最終選考まで残った5名の応募者を表彰し、公園の完成と新たな門出を祝いました。また、町内の園児たちによる鮎の稚魚約2千匹の放流も行われました。子どもたちはバケツいっぱいいの稚魚を手に、最上小国川へ向かい、「大きくなれー」のかけ声のもと、川へ放流し、元気に泳ぎ出す様子を興味深そうに見つめていました。最上小国川は、古くから地域の暮らしや文化を支えてきた町の大切な財産です。今回の放流には、豊かな自然の恵みや川との関わりを次の世代へつないでいきたいという願いも込められています。「アベッス」という愛称には、「あべ！（行こう！）」と気軽に声を掛け合いながら、多くの人が集い、人と人とのつながりを育む場所になってほしいという思いが込められています。これから季節ごとにさまざまな風景を見せる最上小国川とともに、「アベッス」が町民の憩いと交流の場として親しまれ、未来へ受け継がれていくことが期待されます。